



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月31日

上場会社名 株式会社電通総研

上場取引所 東

コード番号 4812 URL <https://www.dentsusoken.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 浩久

問合せ先責任者 (役職名) エグゼクティブオフィス (氏名) 榎木 直人 TEL 03-6713-6160

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	112,231	6.6	14,463	△7.0	14,413	△8.2	10,074	△7.0
2023年12月期第3四半期	105,267	12.2	15,551	9.6	15,695	10.7	10,838	13.2

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 10,156百万円 (△8.6%) 2023年12月期第3四半期 11,108百万円 (10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	154.83	-
2023年12月期第3四半期	166.56	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	141,204	85,977	60.9
2023年12月期	133,333	82,971	62.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 85,977百万円 2023年12月期 82,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	44.00	-	56.00	100.00
2024年12月期	-	54.00	-	-	-
2024年12月期(予想)	-	-	-	54.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,000	6.6	20,000	△4.9	20,000	△5.9	14,000	△4.5	215.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社ミツエーリンクス、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	65,182,480株	2023年12月期	65,182,480株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	107,821株	2023年12月期	112,297株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	65,073,187株	2023年12月期3Q	65,069,464株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2023年12月期 第3四半期累計	2024年12月期 第3四半期累計	増減	前年同期比
売上高	105,267	112,231	+6,964	106.6%
営業利益	15,551	14,463	△1,088	93.0%
営業利益率	14.8%	12.9%	△1.9p	—
経常利益	15,695	14,413	△1,282	91.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,838	10,074	△764	93.0%

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）におけるわが国経済は、金融資本市場の変動や物価上昇等に伴う下押しリスクがあったものの、雇用・所得環境の改善に伴い、緩やかな回復基調が続きました。当社グループを取り巻く事業環境についても、企業のデジタル投資意欲は強く、堅調に推移しました。

かかる状況の下、当社は、2024年1月1日に「株式会社電通国際情報サービス」から「株式会社電通総研」へ商号変更を行うとともに、事業機能の拡充を推進し、システムインテグレーション、コンサルティング、シンクタンクを兼ね備えた「社会進化実装」企業として新たなスタートを切りました。

当連結会計年度は、2022年にスタートした中期経営計画「X(Cross) Innovation 2024」の最終年度です。当社グループは、4つの活動方針「事業領域の拡張」「新しい能力の獲得」「収益モデルの革新」「経営基盤の刷新」のもと、新たな企業ブランドと事業機能を最大限に生かし、業績の拡大に取り組んでおります。また、長期経営ビジョン「Vision 2030」の実現に向けては、2025年からの3か年が極めて重要な期間になると考えており、これまでの延長線ではない成長を遂げるべく、次期中期経営計画の策定についても全社一丸となり進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高112,231百万円（前年同期比106.6%）、営業利益14,463百万円（同93.0%）、経常利益14,413百万円（同91.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,074百万円（同93.0%）となりました。

売上高については、金融ソリューションセグメントおよび製造ソリューションセグメントを中心に増収となりました。一方、利益については、増収による増益効果はあったものの、人員増および従業員の基本給引き上げによる人件費の増加、ならびに技術者の営業サポート工数の増加等から、販売費及び一般管理費が増加し、すべての段階利益で減益となりました。

報告セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■報告セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

報告セグメント	2023年12月期 第3四半期累計			2024年12月期 第3四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	22,582	2,577	11.4%	24,021	2,707	11.3%	+1,439	+130
ビジネスソリューション	17,466	4,571	26.2%	17,137	3,793	22.1%	△329	△778
製造ソリューション	29,819	3,459	11.6%	34,536	3,616	10.5%	+4,717	+157
コミュニケーションIT	35,398	4,942	14.0%	36,535	4,345	11.9%	+1,137	△597
合計	105,267	15,551	14.8%	112,231	14,463	12.9%	+6,964	△1,088

■報告セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、会計領域のソフトウェア商品の販売・導入が銀行業向けに拡大したことに加え、リース・ファイナンス業務管理パッケージ「Lamp」の販売・導入がリース業向けに増加したことにより、増収増益となりました。

ビジネスソリューション

会計・人事を中心に経営管理業務を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、人事および会計領域において複数の案件がピークアウトし同領域のソリューションの販売・導入が低調に推移したことにより、減収となりました。利益についても、減収の影響に加え、戦略的な人員配置に伴い人件費が大幅に増加したこと等により、減益となりました。

製造ソリューション

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、システムグランドデザインおよびエンジニアリングを支援するコンサルティングや、PLMソリューション「Teamcenter」の販売・導入が輸送機器業および電気・精密機器業向けを中心に拡大したこと等により、増収増益となりました。

コミュニケーションIT

マーケティングから基幹業務領域まで企業のバリューチェーンやビジネスプロセスの最適化を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、SAPソリューションの導入が機械業向けを中心に拡大したことにより、増収となりました。一方、利益については、人員増に伴う人件費の増加や株式会社ミツエーリンクスの子会社化によるのれん償却費の発生、加えて前連結会計年度に不採算となった案件が低収益で継続した影響等により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して7,871百万円増加し、141,204百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,909百万円減少し、112,904百万円となりました。これは、顧客向けサービスのためのサブスクリプション契約・保守契約に係る前渡金の増加があった一方、売上債権の回収が進んだものの、株式会社ミツエーリンクスの株式取得に伴う支出があったため資金（現金及び預金、預け金）が微増にとどまったこと等によるものです。固定資産は、主に株式会社ミツエーリンクスの株式取得に伴うのれんの増加により、前連結会計年度末と比較して9,780百万円増加し、28,300百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して4,865百万円増加し、55,227百万円となりました。流動負債は、保守・サブスクリプション型サービス提供に伴う契約負債の増加を主因として、4,735百万円増加し、52,357百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比較して130百万円増加し、2,869百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して3,006百万円増加し、85,977百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年7月24日に発表した連結業績予想を以下のとおり修正します。

■2024年12月期 通期連結業績予想の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	155,000	22,500	22,500	15,700	241.28
今回修正予想 (B)	152,000	20,000	20,000	14,000	215.14
増減額 (B-A)	△3,000	△2,500	△2,500	△1,700	—
増減率 (%)	△1.9%	△11.1%	△11.1%	△10.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	142,608	21,028	21,244	14,663	225.35

■修正の理由

当第3四半期連結会計期間の売上高が想定を下回って推移したことに加え、受注高についても、ビジネスソリューションセグメントを中心に拡大したものの想定を下回る水準であったことから、売上高の予想額を下方修正します。

利益についても、売上高の想定比減少の影響に加え、不採算案件の発生等による売上総利益率の想定比低下、ならびに営業活動の積極拡大等に伴う販売費及び一般管理費の拡大が見込まれることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想額を下方修正します。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,626	5,856
受取手形、売掛金及び契約資産	35,437	28,924
商品及び製品	65	36
原材料及び貯蔵品	12	15
前渡金	19,611	23,307
預け金	52,406	52,823
その他	1,657	1,940
貸倒引当金	△4	—
流動資産合計	114,813	112,904
固定資産		
有形固定資産	3,386	3,607
無形固定資産		
のれん	143	7,770
その他	5,615	5,798
無形固定資産合計	5,758	13,569
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,376	11,124
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	9,375	11,123
固定資産合計	18,520	28,300
資産合計	133,333	141,204
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,358	15,021
未払法人税等	3,462	2,970
契約負債	15,872	19,597
受注損失引当金	180	261
株式給付引当金	18	—
その他	13,730	14,506
流動負債合計	47,622	52,357
固定負債		
退職給付に係る負債	71	90
資産除去債務	849	951
株式給付引当金	147	245
その他	1,671	1,582
固定負債合計	2,739	2,869
負債合計	50,362	55,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,270	15,270
利益剰余金	58,909	61,816
自己株式	△406	△389
株主資本合計	81,953	84,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	234
為替換算調整勘定	732	865
その他の包括利益累計額合計	1,018	1,100
純資産合計	82,971	85,977
負債純資産合計	133,333	141,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	105,267	112,231
売上原価	67,408	71,807
売上総利益	37,859	40,424
販売費及び一般管理費	22,307	25,961
営業利益	15,551	14,463
営業外収益		
受取利息及び配当金	38	109
持分法による投資利益	6	—
保険配当金	47	51
助成金収入	32	17
投資事業組合運用益	46	—
雑収入	10	20
営業外収益合計	180	199
営業外費用		
支払利息	19	27
持分法による投資損失	—	79
投資事業組合運用損	—	48
為替差損	9	86
雑損失	6	7
営業外費用合計	35	248
経常利益	15,695	14,413
特別利益		
投資有価証券売却益	135	320
特別利益合計	135	320
特別損失		
減損損失	75	25
投資有価証券評価損	302	—
特別損失合計	377	25
税金等調整前四半期純利益	15,453	14,709
法人税、住民税及び事業税	5,187	5,387
法人税等調整額	△573	△753
法人税等合計	4,614	4,634
四半期純利益	10,839	10,074
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,838	10,074

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	10,839	10,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△51
為替換算調整勘定	264	133
その他の包括利益合計	268	81
四半期包括利益	11,108	10,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,106	10,156
非支配株主に係る四半期包括利益	1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	22,582	17,466	29,819	35,398	105,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,582	17,466	29,819	35,398	105,267
セグメント利益	2,577	4,571	3,459	4,942	15,551

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	24,021	17,137	34,536	36,535	112,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,021	17,137	34,536	36,535	112,231
セグメント利益	2,707	3,793	3,616	4,345	14,463

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社ミツエーリンクスを子会社化したことに伴い、コミュニケーションITセグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、7,892百万円であります。

なお、当該事象によるのれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,432百万円	2,415百万円
のれんの償却額	67百万円	265百万円